

高速安協会員各位

新潟県高速道路交通安全協議会  
新潟県高速道路交通警察隊

ハイウェイ通信

No. 9

◎ 交通事故発生状況（令和7年7月末日現在概数）

| 区分   | 高速道路の交通事故発生状況 |        |            | 県内の交通事故発生状況 |        |            |      |
|------|---------------|--------|------------|-------------|--------|------------|------|
|      | 令和7年          | 前年比増減数 | 前年比増減率 (%) | 令和7年        | 前年比増減数 | 前年比増減率 (%) |      |
| 人身事故 | 発生件数          | 31     | 11         | 55.0        | 1,362  | -123       | -8.3 |
|      | 死者数           | 3      | 3          | 0.0         | 28     | -3         | -9.7 |
|      | 負傷者数          | 52     | 23         | 79.3        | 1,554  | -135       | -8.0 |
| 物件事故 | 1,251         | 233    | 22.9       | 32,020      | 3,415  | 11.9       |      |

※数値は速報値である。

◎ レジャー時期の運転は要注意！～夏に多い交通事故

夏は、行楽シーズンで交通量が増える一方、暑さや疲労から交通事故が起こりやすくなります。

特に、渋滞や長距離運転による疲労、集中力の低下が事故の原因となるケースが多く見られるなど、夏特有の危険が潜んでいます。

※ 夏特有の事故原因

- ・ 熱さによる集中力の低下 駐車中の車内温度上昇など、わずかな時間で環境が悪化
- ・ 強い紫外線による目の疲れ 太陽光だけでなく、路面や対向車からの照り返しもダメージに直結
- ・ 暑さによる疲労の増加 熱帯夜による睡眠不足、食欲不振による体力低下、レジャー帰り等で疲労が蓄積
- ・ 車両のトラブル タイヤのバースト、バッテリートラブル
- ・ 交通量の増加～夏休みやお盆の時期 高速道路や観光地周辺道路の混雑
- ・ 不安定な天候～ゲリラ豪雨など 視界及び路面状況の悪化



※ 夏特有の事故を防ぐための具体的な対策

- ・ 車内の温度管理を徹底する サンシェードの活用、車内にこもった熱気を外に排出しての運行など
- ・ こまめな水分補給を徹底する 「喉が渴いた」と感じる前に、30分～1時間に1回程度は水分を補給
- ・ 疲れを感じる前に計画的に休憩を取る  
タイミング（1～2時間に1回）、場所（高速 SA・PA、一般道の道の駅）、過ごし方（車から降りてのストレッチ、15分程度の短い仮眠）
- ・ サングラス等を使用する まぶしさを軽減し、目の疲労を大幅に減らしてくれるアイテム
- ・ 悪天候時は運転しない 不要不急の外出は避け、計画を変更する勇気を持つ  
万が一の場合は、パニックにならず冷静に対処する



以上、夏の運転は、ドライバー自身の体調管理、車のコンディション維持、刻々と変わる交通状況や天候への対処が必要となります。

業務中、プライベートに関わらず、最大限の注意を払って交通事故を防止しましょう。

協議会に対する連絡、ご意見を受け付けています。 新潟県高速道路交通安全協議会（事務局 担当 比企・村山）  
 電話番号 025-287-4433 e-mail: [nigatakousoku-ankyo@chive.ocn.ne.jp](mailto:nigatakousoku-ankyo@chive.ocn.ne.jp)  
 FAX番号 025-286-3460 URL: <http://nigata-kousoku-ankyo.com>